

自主貢献

あいきつは あふれる笑顔の あいことば

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 令和3年2月1日(月)

発行者 学校長 古木 喜雅

所在地 神奈川区西寺尾三丁目10番1号

電話 401-3644 FAX431-0244

目の前にあることを

副校長 綿貫 芳人

再度の緊急事態宣言が発令され、先行きが不透明なままですが、学校ではガイドラインに沿いながら、粛々とできることを考え、生徒と共に歩んでいます。保護者の皆様、地域の皆様には日頃から学校を支えていただきありがとうございます。感謝申し上げます。

先日、サッカーJリーグ・川崎フロンターレの中村憲剛選手が、18年にわたる選手生活に別れを告げました。彼は、中学入学時の身長は、136cm。背が低いだけでなく、足も遅く、周りとの体格差に圧倒され、何もできない自分が嫌になりサッカーをやめたいこともあったそうです。そんな中村憲剛選手がテレビのインタビューで、「18年の選手生活を振り返り、周囲に何を伝えられたと思いますか」という質問に対し、「続けることかな」って答えていたのが印象的でした。さらに、「続けていれば、何かが変わる。続けていれば、誰かが助けてくれたり、自分で可能性を見つけられる。続けていれば、未来が変わるんですよ」と答えていました。「続けること」シンプルな言葉ですが、小さな体でサッカーを続けてきた中村憲剛選手の実感だったのでしょう。

私の好きな本の一つ「神様のカルテ」の中に、ベテラン医師が若手医師にこんな質問をする場面がありました。「医者にとって一番大事なものはなんだかわかるか」若手医師はすぐに答えを出せずに考えます。「それはな、」とつぶやくように言ってから、「続けることだ」「どこで働こうが、どんな病院に行こうが、そんなことはどうだっていい。とにかく医者を続けることが肝心なんだ」

今、私たちは目の前の個々の課題と日々向き合い頑張っています。ときにはうまくいかないことや嫌になることもあります。努力しているのに、頑張っているのに何でだろうと思うときがあります。でも「続けること」自体に価値があるんだなと思いました。うまくいなくても続けているうちにいろいろなことが身についてくる。そんなことを教えてくれている気がします。「続けること」私の好きな言葉の一つです。